

公表日 令和7年 11月 6日

事業所名 こばんはうすさくら 四日市富田教室

保護者等数(児童数) 11名 回収数 7件(割合〇%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	6			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4		1	2		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1		4		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	7					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			2	5		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		2		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			3	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			2 まだ、事故等がないので、有難いです。	引き続き、事故等起こさないように、気を引き締めて対応に当たりたいと思います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7				
	29	事業所の支援に満足していますか。	7			利用時間が短いため、仕方がないですが個と集団が半々くらいだとありがたいなと思います。	現在は、集団と個別の対応を行っての時があります。

公表日

令和7年 11月 6日

事業所名

こばんはうすさくら 四日市富田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい		プログラムなどは、個別又は少人数での対応ですので、小さいお部屋を使用。大きい部屋を、全体プログラムや自由遊びに使用しています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	はい		最低人員以上の配置に努めています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	はい		行動的にはわかりやすい配置、バリアフリー化しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	はい		整理整頓、清潔な空間作りに努めています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	はい		必要に応じて、別のお部屋でのクールダウンや個別対応に使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	はい		個別支援計画の目標を細分化して、定期的に目標設定と振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		いいえ		保護者向け評価表の準備がまだできていな い。検討しまして、準備をしたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい		毎日の終礼や職員の全体会などを通じて把握に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	はい		組織の本部の方に、事業内容や運営内容について意見等を頂き改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	はい		外部研修や内部研修などで確保している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	はい		5領域に応じた、オリジナルのプログラムを、毎月行っていて、スケジュール表は作成しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	はい		モニタリングの機会に、様子など伺い、現在のニーズに即した計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	はい		カンファレンスの機会を設けて、職員に広く意見を求めて、それに基づいて作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	はい		利用者の日々の目標シートと、リンクをさせて、利用者も職員も、毎日確認が出来るよう行っています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		いいえ		フォーマルなアセスメントは行えているが、インフォーマルなアセスメントはまだ行えていない。検討します。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		いいえ		移行支援や地域支援の要素が、まだ足りてないと思います。検討してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	はい		職員同士で、チームを作り、活動プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	はい		多彩なプログラムを工夫立案していますが、繰り返し行った方が良いプログラムについては、行っている場合もあります。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	はい		プログラム内容によっては、個別で行ったり、集団行ったりしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	はい		朝礼の時に担当者より、プログラム内容の説明と役割について共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		いいえ		終礼の際に、担当者より、振り返りが行われるときがありますが、毎日は出来ていな いです。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	はい		終礼の際に、共有事項や、その日の利用者の様子等伺い記録に残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	はい		定期的に行っていて、見直し改善に努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	はい		職員による内部プログラムや外部機関による外部プログラムなど組み合わせて行っています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	はい		プログラム参加は進めていますが、本人の意思を尊重しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	はい		児発管が参加していましたが、これからは職員も参加できるとよいかと思っております。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		いいえ		まだ、連携できていない機関もありますので、これからは連携に努めたいと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	はい		学校ないしご家族様よりの情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		いいえ		就学前の関連機関との情報共有は、まだ行っていません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		いいえ		まだ、事例がありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	はい		児童発達支援センターの主催する研修等へは積極的に参加しています。	
保護者への説明等	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	はい		児童館での地域の他の子供さんと、同じ空間で利用を行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	はい		まだ、一度だけの機会しかないです、参加しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	はい		送迎時に、保護者様と、活動の状況をお伝えすると共に、課題等あれば、一緒に考えています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		いいえ		まだ、機会を設けることが出来ていません。検討してまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	はい		利用開始時に説明を行っています。適時質問等あれば、お答えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	はい		利用開始時や、モニタリング時、その他ご連絡等あった際に、確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	はい		利用開始時や更新開始時において、説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	はい		保護者様よりのご相談の節ごとに、個別面談を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		いいえ		まだ、開催が出来ていません。検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	はい		その節には、改善策を整備して、行なっていきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		いいえ		都度に対象者等への連絡のみとなっています。検討したいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	はい		細心の注意を払っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	はい		出来る範囲で、意思疎通に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		いいえ		まだ、開催が出来ていません。検討していきます。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			マニュアルは作成済。職員、訓練等は出来ていますが、家族等への周知がまだの状態です。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	はい		消防署職員との避難訓練や、独自の避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	はい		利用開始時やモニタリングの際に、確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		いいえ		現在、該当の利用者はいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	はい		安全計画は作成済。危険な所は無いか常に確認に努めています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		いいえ		家族への周知がまだできていません。準備していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	はい		ヒヤリハットがあった際に、共有すると共に、記録を残し、ケア会議の際に再度検討を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	はい		虐待検討委員会などで、チェックシート等で、自分の行動を振り返る機会を設けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		いいえ		現在、該当者はいない。

参考様式B1(自己評価等関係)

従業者向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	12人以上の利用者がいる日は、教室が狭く感じる。 物理的に、スペース、部屋数も無理であるため、現状の形でベストであると思う。 もう少し広いスペースが確保できると子供が過ごしやすい。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員の休みが重なった日以外は、基本的には足りている。 時々、足りないと感じるときがある。（送迎時など）
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		環境設定は気を付けて行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	床の水拭きは、定期的に行ってます。 食事時は、床が汚れてしまうため、濡れた雑巾で、しっかり拭くようにしています。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		聴覚過敏や大人数が苦手なお子さんは、都度対応を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		目標シートを活用している。 コミュニケーションは、しっかりとれているように感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		目標シートを活用している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	最近は定例会がない。 いつでも話しをする機会がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	わからない。 まだ、第三者評価まで行えていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に、研修を受けて頂いています。
支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		毎月プログラムの作成を行い、公表しています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		その子一人一人に合った個別支援計画が、しっかり作られている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		カンファレンスにて、支援員にも広く意見を聞いています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		利用者の目標シート作成の為に、個別支援計画は共有しています。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	目標シートや終礼で行われている。

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		利用日が曜日固定の方が見えるので、どのよう日でも五領域のプログラムが体験できるように工夫しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	個人ですることが多いが、たまにペアです。楽しいプログラムをいつも考えて頂いていると思います。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	曜日別で、プログラムを行っているので、固定されがちである。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		目標や必要性に応じて、個別支援を行っている。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼で行っている。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼で行っている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		システムに入力して、全職員が見れる状況になっている。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		目標シートで行っている。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1	よくわからない。 『地域交流の機会』の交流のみ行えていない。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		出来ているときもあるし、出来ていない時もある。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		よくわからない。 支援員も参加できるようにしたい。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	よくわからない。 保健、医療関連での連携が薄いため、強化していきたい。
関係機関や保護者との連携	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校や園へのお迎えの際に、担任の先生方との情報共有を行っています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	就学後のつながりは薄い。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	よくわからない。 まだ、卒業していないから、実施できていない。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	よくわからない。 相談員さんと情報共有を行っています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	1	児童館へのお出かけプログラム 今後、関りを深めていきたい。 夏休み中に児童館に行ったり、とても楽しそうです。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	よくわからない。 参加したいが、参加方法がわからない。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に1日の様子や、目標シートの説明時に行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	まだ、実施できていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		よくわからない。 契約時に説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		アセスメントで行われていると思っている。
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		初回利用日又は以前に、対面にて行っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		見学などで行われている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	未実施
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	伺った説には、即座に対応を行っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		よくわからない。 その説には、情報発信を行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		シュレッダーにかけるようにしている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		送迎時等で対面にてお話をるようにしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	長期休みには、外部から講師を招いたり、消防署など施設見学をしている。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		家族まで周知してるとかわからない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	私が働き始めてからは避難訓練は行っていない。 年に2度以上は行っている。
非常時等の	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	アセスメントやモニタリングを行っています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	指示書は見たことが無い。 医師から指示を受けている方はいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	委員会等で行っています。

対応	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	よくわからない。 家族への周知がまだできていないので、検討します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		朝礼や終礼で報告しあうようにしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		初回研修であった。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	4	基本的に身体拘束は行っていない。